

一

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文の掲載は控えております。

問一 Ⅱ線部（ア）く（エ）のカタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなに直しなさい。

問二 Ⅰ線部①「期待にみちた目」とあるが、ここでの「期待」とはどういうことか。二十字以内で答えなさい。

問三 空欄の にあてはまる言葉として適当な言葉を、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア たじたじ イ にこにこ ウ ピリピリ エ めろめろ

問四 空欄の にあてはまる体の一部を表す言葉を、漢字一字でそれぞれ答えなさい。

問五 Ⅰ線部②「お母さんは、まだ夜なかに泣いてるの？」に関連した、次の問いに答えなさい。

(1) 木内さんが、「お母さん」への思いを込めて行ったことを、本文中から三十字で抜き出し、最初と最後の五字を答えなさい。

(2) (1)の行ったことに込めた木内さんの思いを、本文中から九字で抜き出して答えなさい。

問六 ―線部③「指切りげんまん」とあるが、何を約束するために指切りげんまんしたのかをまとめた次の文の（a）に入る表現を、本文中の言葉を使って、二十字以内で答えなさい。
（a）という約束。

問七 次の会話は、この作品を読んで感じたことを述べあつたものである。それらの発言のうち、文章の内容に合っていない人の発言を一つ選び、人物名で答えなさい。

やすよさん―「美穂は運動が得意そうな人物で、美幸は器用でしつかりものであり、粘り強さを持った人物だということがわかるね。」

たかしさん―「木内さんは、美穂から美幸が人形に興味を持つだろうと聞いていたから、美穂から人形づくりに参加するよう説得してほしいと頼まれていたんだね。」

みちこさん―「でも、美穂は美幸から怒られているように、姉らしくない人物よね。運動はできるけど…という点でも、まるで私の姉そっくり。」

こうきさん―「なるほど。でも、美穂は怒られても、ちゃんと美幸の求めには応じているところから、美穂は素直な性格をしているということが言えるね。」

□ ② 次の《文章Ⅰ》を読み、あとの問いに答えなさい。

本文の掲載は控えております。

問一 Ⅱ線部（ア）、（イ）のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 Ⅰ線部①「日本語の歴史を知ることには、どういう意味があるのでしょうか？」とあるが、この問いに対する答えを一文で探し、最初と最後の五字を抜き出しなさい。ただし、句読点（「、」「。」「」など）も一字とします。

問三 Ⅰ線部②「敬語」とあるが、次の会話を讀んで「敬語」に関する問いに答えなさい。

次の会話は新聞販売員と小学生のはるお君の会話です。会話の中から敬語の不適切な部分を抜き出し、適切な表現に書き直しなさい。

販売員 「こんにちは。私は毎朝新聞の山本と申します。お母様はいらっしゃいますか。」

はるお 「申し訳ありません。母はただいま外出しております。」

販売員 「そうですね。何時ごろお帰りになるか、分かりますか。」

はるお 「ええと、おそらく六時ごろには帰られると思います。」

販売員 「分かりました。では、六時ごろもう一度うかがいます。」

問四 ー線部③「今話している日本語がなくなったらどうなるか」とあるが、筆者はどのように考えていますか。
() にあてはまる言葉を十字以内で答えなさい。

準 語が

()

と考

。

問五 この文章の内容に合っているものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 敬語の乱れをどうするかは日本語の将来にかかわることなので、若者が中心となって考えていかなければならない。

イ 日本語という糸でつむぎ出された織物はたいへん価値のあるものなので、外国においても高く評価されている。

ウ 英語には日本語にある擬音語・擬態語が存在しないため、日本語を英語に翻訳するとうまく表現できないことがある。

エ これからは日本人が母語の歴史を知ることを通して日本の文化について学び、外国の人々に伝えていく時代である。

問六 く線部『「言葉の乱れ」をどう考えるべきなのか』とあるが、「言葉の乱れ」について述べた次のページにある《文章Ⅱ》を読んであとの問いに答えなさい。

本文の掲載は控えております。

(1) |線部④「空間的にも時間的にも非常な広がりを持つ」とあるが、これは書き言葉のどのような特徴を述べたものか、三十字以内で説明しなさい。

(2) |線部⑤「たとえば」とあるが、これは何を説明するための「たとえ」か、説明しなさい。

(3) ≪文章Ⅰ≫く線部『「言葉の乱れ」をどう考えるべきなのか』について、≪文章Ⅱ≫を参考にすると、「言葉の乱れ」はどうして起きると考えられるか、四十字以内で説明しなさい。

三

次の金子みすゞさんの二つの詩を読んで、あとの問いに答えなさい。

（ 作品の掲載は控えております。 ）

（ 作品の掲載は控えております。 ）

問一 「上段の作品」について、あとの問いに答えなさい。

(1) この詩に使われている表現技法名を、解答欄に合う形で、漢字二字で書きなさい。

(2) この詩が読者に伝えようとしているものは、どのようなものですか。「見える」、「見えない」という語を使って、三十字以内で答えなさい。

問二 「下段の作品」について、あとの問いに答えなさい。

(1) 作者のメッセージが強く出ている部分を、十五字以内で抜き出しなさい。

(2) 作者のメッセージを、あなたはどのように受け止めますか。「個性」という語を使用して、三十字以内で書くことを書きなさい。

問三 次にあげるのは、この二つの詩に対する鑑賞文である。文中の **A**、**B**、**C** を、それぞれ次の中から一つ選び、記号で答えなさい。文中の **A**、**B**、**C** に入る適切な言葉

A の無い自然現象に対してさえ、感情を移し入れて、雪の立場になってうたっている。
みずの作品が、やさしく、温かく、**B** に満ちているのは、現代の生きにくい世の中で、自然や生きもの、人間の **C** を願う気持ちが根底にあるからである。

- ア 喜び イ 哀しみ ウ 愛 エ 幸せ オ 生命 カ 精神 キ 身体

四

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

（文章の掲載は控えております。）

問い 本文で筆者が伝えたいことをまとめ、「ペットのストレス」について、あなたの考えを、一二〇字以上

一四〇字以内で述べなさい。

(注意点)

- 一、 二段落構成で書くこと。
- 二、 第一段落で、筆者が本文で伝えたいことをまとめること。
- 三、 第二段落で、「ペットのストレス」についての自分の考えを書くこと。